ぴあ

2024年度 上期のご報告
2024.4.1-2024.9.30

会員事業などの周辺ビジネスも好調に推移

スポーツジャンルの盛り上がり、大規模音楽フェス、演劇、来日公演の活況などにより

上半期の取扱高は過去最高

PIA FILM FESTIVAL
第46回 開催

中学生、高校生の監督も入賞

最終選考作品の6割は女性監督

JAL国際線・国内線での機内上映もスタート

体験型の高付加価値チケット販売

ホスピタリティ事業も順次収益化

日本航空の会員向けにエンタメ体験マイレージ商品を提供

ぴあスポーツビジネスプログラム

第4期修了 来期は福岡校も開講予定

“感動のライフライン”の構築を進行中

累損の一掃と復配の実現を目指す

「中期経営計画」2年目も期初想定通りに進捗

ぴあアリーナMM
引き続き好調に稼働

大阪・関西万博 東京2025世界陸上の

チケッティング業務を全面受託

五輪やW杯で得た経験とノウハウを大型国際イベントでフル活用

ぴあ株式会社

代表取締役社長 **矢内（やない） 廣（ひろし）**

ぴあを応援してくださる皆様へ
“感動のライフライン”の構築を進めています

集客エンタメ市場は、コロナ禍前を遥かに凌いで復活

皆様には平素よりご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。お陰さまで、当グループの当連結会計年度におきましては、営業利益、経常利益ともに前年度を上回る推移を辿っております。当社シンクタンクのぴあ総研の調査でも、国内集客エンタメ市場はすでにコロナ禍前を遥かに上回る規模に復調し、この勢いはしばらく継続するものと想定しております。パリ五輪の熱狂を受けたスポーツ分野の盛り上がりや、全国的な大規模音楽フェスの開催、演劇や来日アーティスト公演の活況などにより、取扱高ベースでの売上は1,400億円規模に達し、過去最高の水準となりました。また、チケッティングビジネスを核とした周辺事業も順調に推移し、昨年発表した3ヶ年中期経営計画の2年目の目標達成に向けて着実に進捗しております。誠に遺憾ながら、コロナ禍の影響による多額の累損の解消までには至っておらず、当期の配当も無配とさせていただかざるを得ない状況ですが、中期経営計画期間内での累損の一掃、そして復配の実現に向け、役員・従業員一丸となって努力を続けてまいります。

基幹事業の拡大とともに、周辺・新規事業へ重点投資

中期計画の達成に向け、基幹事業であるチケット流通、興行制作、ぴあカード会員、アリーナ運営等の収益拡大と並行し、「ホスピタリティ事業（サステナビリティ高付加価値チケットの販売）」、「グローバル・イベント事業（万博・世界陸上等の国際的分野での業務受託）」「デジタルメディア・データマーケティング事業」等、コロナ禍中に準備を進めてきた新規事業群への戦略的投資活動を継続しています。特に、稼働も好調な「ぴあアリーナMM」、「豊洲PIT」「仙台PIT」に続き、2026年に東京・八重洲に開業予定の新劇場の運営も決まりました。将来的には横浜・みなとみらいエリアや東京駅周辺エリアを、ブロードウェイやウエストエンドのようなショービジネスの観光拠点として、広く発展させることを目指すとともに、全国展開も視野に入れた新たなヴェニューの開発にも着手してまいります。

また、いよいよ「大阪・関西万博」の開幕まで半年となりました。当社ではチケッティング業務を全面的に受託し、その販売から入退場管理までを一元で行えるシステムを提供しています。来年9月開催の「東京2025世界陸上」の受託業務も含め、五輪やW杯等でのノウハウをフル活用しながら本番の開催に貢献してまいります。一方、昨年12月にリリースした配信型サブスクリプションサービス「ぴあ落語ざんまい」は、開始から1年を経て2,000本を超えるラインナップが揃いました。若手からベテランまで、実際の高座での実演映像が見放題となる業界最大のサービスですので、落語ファンの方ならずともぜひ一度お試しください。

経済性と趣旨性の両輪で進みます

今年で46回目を数えた自主製作映画のコンペティション「PFFアワード」では、14歳の中学生が入賞するなど、若い才能の台頭が目立ちました。去る5月からは、日本航空の国際線・国内線で、過去の入選作品が機内上映プログラムに加わりました。若手の新人監督たちにとっては、貴重な上映機会が増えることとなります。作品は定期的に入れ替わりますので、フライトの際はぜひお楽しみください。また、映画の未来を拓き、世界へと羽ばたこうとする若く新しい才能に対して贈られる「大島渚賞」は、今年で第5回を迎え、『遠いところ』で注目を集めた工藤将亮監督に授与されました。 今や、PFF出身のプロの映画監督は200名近くに達しています。こうした取り組みを通じて、今後も「映画の新しい才能の発見と育成」を継続し、日本の映画界の持続的発展に寄与していきたいと思っております。また、ぴあ総研では、日本で開催されている全ての興行データを正確に集計し、集客エンタメ市場の変遷を発表し続けています。今やその分析や予測値は、世の中の市況とその行方を量る重要な経済指標の一つとして、広く活用されています。いずれも収益には直結しない活動ですが、経済性の追求と同時に、こうした趣旨性の体現も当グループの企業理念の核となっています。

21世紀の“感動のライフライン”の構築を目指して

私たちは、過去の大震災やコロナ禍などを経て、エンタテインメントには人々を元気づけたり、勇気づけたりする力があることを実感してきました。同時に、地域の活性化や地方創生にも大きな貢献を果たしています。ぴあグループでは、エンタメは決して不要不急なものではなく、世の中や社会にとって不可欠な存在であることを示すために、SDGsの18番目の目標として、“Making Life and Society rich with Art, Culture, Entertainment and Sports.”（文化芸術・エンタテインメント・スポーツで、心豊かな暮らしと社会を）を提唱しています。

生命や生活を維持するためのライフラインに、21世紀は「感動」が加わります。エンタテインメントによる感動は、ひとりひとりが毎日を生き生きと暮らすための、いわば「酸素」のようなものだと私たちは考えています。当グループでは、それらの作り手と受け手、生み出す側と楽しむ側を一気通貫に結ぶサービスを、“感動のライフライン”と呼んでいます。コンテンツの創出からプロモーション、チケット流通、ホール・劇場の運営までを一手に担うとともに、コミュニティの醸成、文化や人材の育成、業界へのソリューション、地域の活性化等を通じ、集客エンタテインメント産業全体のサステナビリティ化にも貢献したいと思っています。同時に人的資本経営にも注力し、生産性の向上や残業の削減はもとより、ぴあならではの働き方改革と環境の改善を進め、全社一丸となって企業価値の向上を図ってまいりますので、今後とも引き続き、皆様からの温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

“感動のライフライン”事業の基本フレーム

コロナ禍にあって、不要不急と言われたエンタテインメントこそ、多くの人々に勇気や元気をもたらし、夢や希望を与えてきました。当社グループは、事業継続のための利益を求める「経済性」とともに、あり得べき社会の姿を求める「趣旨性」の両立を図りながら、エンタテインメントを通じて、多くの人々を元気づけ、心を癒す“感動のライフライン”の構築を目指しています。

2024年度上期の主な活動

■チケット流通事業 ■コンテンツ事業 ■ソリューション事業 ■会場事業 ■メディア&プロモーション事業 ■社会貢献・CSR活動 ■IR活動

4月

■■「YOKOHAMA GOGO DOG FES 2024 春」を主催

■■■「SODA presents Battle of Rock」（ぴあアリーナMM）を主催

■『アゲアゲめしAWARD公式ガイドブック』第10回沖縄書店大賞、準大賞受賞

5月

■ぴあ総研シンポジウム「集客エンタメの社会実装に向けて～集客エンタメを核とした地域活性～」開催

■JALの国際線・国内線の機内エンタテインメントにて「PFFアワード」受賞作品の上映をスタート

■■「METROCK2024」（大阪・東京）を主催

■『森のカフェと緑のレストラン 千葉版』重版実施

6月

■第51回定時株主総会を開催。オンライン配信も実施

■■東京2025世界陸上財団と「東京2025世界陸上スポンサーシップ契約」を締結

■『Denny'sぴあ 2024～50周年記念ファンブック～』3刷実施

7月

■■「EUROJAPAN CUP 2024 セレッソ大阪 vs ボルシア・ドルトムント」に出資参画

■パリオリンピックの国内関係者向けチケッティング業務を受託

■■■ぴあの公式キャラクター・ぴっけろとくまっぴーのLINEスタンプ登場

■『森のカフェと緑のレストラン 首都圏版』9刷実施、『森のカフェと緑のレストラン 仙台版』3刷実施

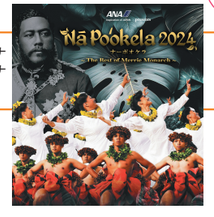
8月

■■「2024 神宮外苑花火大会」を主催

■■■横浜市と連携し「スポーツ観戦者の試合観戦前後の回遊性向上に関する実証実験」をサッカー観戦&観光の情報アプリ「ユニタビ」を活用して実施

9月

■■■世界最高峰のフラコンペティション「メリーモナークフェスティバル」の入賞者によるエキシビション「ナーポオケラ2024」（ぴあアリーナMM）を主催



■■「AKABIRA CAMP BREAK 2024」（北海道）を主催

■「第46回ぴあフィルムフェスティバル」を開催。アワード入選作はU-NEXTで配信

■新NISAに対応した『ジェイソン流お金の増やし方 改訂版』発行

10月

■■JALとの業務提携により、JALの会員に向けてエンタテインメント体験を強化すると発表

■『PMC SPECIAL EDITION3 Mrs. GREEN APPLE』7刷実施

■『森のカフェと緑のレストラン 神奈川版』3刷実施

チケット販売

オフィシャルイベントサポーターとしてチケッティング業務を全般的に受託している「東京2025世界陸上」や、同じく入場券販売から来場者の入退場まで一連の管理ができるシステムを提供している「大阪・関西万博」など、ぴあではこれまでの五輪やW杯で得た経験とノウハウを活かしながら、多くの国際イベントに貢献しています。

高付加価値体験を提供するホスピタリティサービスも着々とサービスを拡大し、今期もこれまで「ジャパンラグビー リーグワンプレーオフトーナメント決勝」や「ジャパンオープンテニス」、新国立劇場「眠れる森の美女」をはじめ、多くの大規模イベントで好評を博しました。

また、当社に蓄積されたエンタテインメント領域におけるさまざまなデータを活用しつつ、スポーツ団体や興行主催者、ホール・劇場などにチケット販売システムを提供する取引先も200社に達しています。

チケット販売を介し、見たいもの、聞きたいものを誰もが自由に享受できる社会を目指して、集客エンタメ産業のサステナブルな継続と発展を支えています。

OSAKA, KANSAI, JAPAN EXPO 2025

WORLD ATHLETICS CHAMPIONSHIPS TOKYO 25 OFFICIAL EVENT SUPPORTER

©Expo 2025

ヴェニューネットワーク

約1万人を収容する日本初の民設民営の大規模アリーナ「ぴあアリーナMM」は、引き続き好調な稼働を続け、週末の貸館予約は来年度末まで埋まる好況です。当アリーナの運営のみならず、周辺施設や駅構内、交通機関等と連携した地域ぐるみの街イベントも企画・開催しています。

また、ぴあ所有の「豊洲PIT」「仙台PIT」に加え、2026年に開業を予定している東京駅前・八重洲の新劇場は、立地の良さや収容規模などに高い前評判をいただいており、開業後の各種企画の検討も始まっています。

ぴあアリーナMM

2026年開業予定・八重洲の新劇場

ぴあのコミュニティ

日本最大のチケットエージェントであるぴあの会員数は2千万人に達し、約4万社に及ぶ主催者様のチケットを販売しています。また、ぴあならではのサービスを提供する「ぴあカード」会員は34万人に達し、サービス開始から7年目を迎えた「ぴあ」（アプリ）のダウンロード数も185万を超えました。日本航空のマイレージ会員様向けにエンタテインメント体験を促進するサービスをスタートするなど、様々なコミュニティにおいて“感動のライフライン”を繋いでいます。

JAPAN AIRLINES　ぴあ

コンテンツ創出

地域性を生かした良質な興行コンテンツや、多角的なメディア商品など、様々なコンテンツの創出に取り組んでいます。

Hello Kitty展 わたしが変わるとキティも変わる

開催中～2025/2/24（月・祝）
●東京国立博物館 表慶館

「進撃の巨人」- the Musical -

2024/12/13（金）～12/22（日）
●TOKYO DOME CITY HALL
2025/1/11（土）～1/13（月・祝）
●大阪・オリックス劇場
諫山創・講談社／「進撃の巨人」-the Musical-製作委員会2024

シェアしたくなるおやつが大集合！
おやつ市場

2025/2/14（金）～2/16（日）
●東京・二子玉川ライズ ガレリア

ぴあMUSIC COMPLEX (PMC) Vol.33

音楽専門誌『PMC』は、話題のアーティストのグラビア、インタビューを詰め込んだ、ファン必携の雑誌。1冊まるごとMrs. GREEN APPLEのスペシャル版は8刷に達し、ロングセラー中。

2022年発行の「豊橋」を皮切りに、現在7都市で展開中の「地元LOVE本」決定版！意外と知らなかった、ディープな町の魅力を再発見できると好評。

エンタメジャンルに強いぴあならではの視点で各種ジャンルの本を刊行。旬のアスリートなどの語録や思考をまとめた書籍も人気で、ロングセラーが増えています。

東京の絵になる店

重版を重ねている『森のカフェと緑のレストラン』はじめ、空間やシチュエーションを楽しむ、“コト消費”のグルメ本が好調です。本シリーズは美観と美食のカフェ&レストランを厳選して紹介。

凱旋
9歳で癌になった僕が17歳で世界一になるまでの話

栗山英樹の思考
若者たちを世界一に導いた名監督の言葉

サステナブルな人材・文化の育成

映画の新しい才能の発見と育成を目指して「第46回ぴあフィルムフェスティバル」を開催

当社CSR活動の一つである（一社）PFF主催の「ぴあフィルムフェスティバル」は46回目を数え、今年は692本の応募作品の中から19の入選作品が選出され、川島佑喜監督の「I AM NOT INVISIBLE」がグランプリを受賞しました。入選作品には、最年少14歳を含む、18歳以下の監督作品が3本、入選監督の平均年齢も昨年の26.1歳から23.1歳へと大きく若返りました。加えて、若いクリエイターたちの出会いの場として映画祭を体験していただくための新たな試みとして、18歳以下のお客様を上映プログラムに招待する企画や、デザインを学ぶ学生が入選作品のオリジナルポスターを制作する企画も実施しました。

また、来春にはPFFがスカラシップを出し製作から劇場公開までをプロデュースする「PFFプロデュース」の第29回作品「恋脳Experiment」（岡田詩歌監督）の劇場公開も決まりました。今後もPFFをきっかけとして、映画の未来を切り拓き、世界へ羽ばたこうとする、若くて新しい才能のさらなる飛躍にご期待ください。

©2023 ぴあ、ホリプロ、電通、博報堂DY メディアパートナーズ、一般社団法人PFF

恋脳Experiment
2025年2月14日（金）より新宿シネマカリテほか全国順次公開

ぴあだからこそできる、プロスポーツ産業を牽引する人材育成「ぴあスポーツビジネスプログラム」第5期開講決定

プロスポーツビジネス界において、現場で即戦力として活躍できる人材の育成を目的に開講した本プログラムは第5期の募集を開始しました。多くのご要望にお応えし、5期より平日夜間と土曜日のハイブリッド開催に変更するほか、全国各地の方々にもご参加いただくため、現行の「東京校」「オンライン校」に加え「福岡校」を開講予定です。本プログラムでは、今後も卒業生のキャリアをサポートしつつ、スポーツ業界の発展とサステナブルな人材の育成に貢献してまいります。

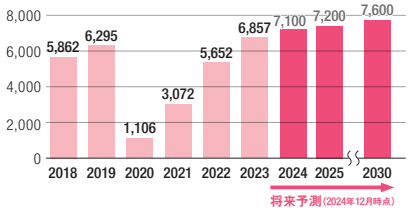
『2024ライブ・エンタテインメント白書』を発行 大規模会場の増加と単価の上昇により、過去最高の市場規模に

ぴあ総研が毎年調査・編集を行っている『ライブ・エンタテインメント白書』の最新刊が発行されました。2023年の国内ライブ・エンタテインメント市場規模は、コロナ禍前を上回る6857億円で着地、2024年についても7000億円超の過去最高の将来予測となっています。特に音楽フェスは市場規模と動員が過去最高を更新し、2.5次元ミュージカルにおいても市場規模と上演本数が推計開始以来、過去最高の数値を記録しました。新型コロナの5類移行に伴い人流が活発化したことに加え、大規模会場の増加とチケット単価の上昇が市場規模の拡大を後押ししており、今後も継続的に成長を続けるものと想定しています。

また、こうした調査・研究のほか、ぴあ総研では集客エンタメ産業の社会的価値への理解を深めるため、シンポジウムなどを通して「集客エンタメ産業の未来に向けた、社会的意義と本質的価値」について提言を続けています。

ぴあ総研が発行した『2024ライブ・エンタテインメント白書』

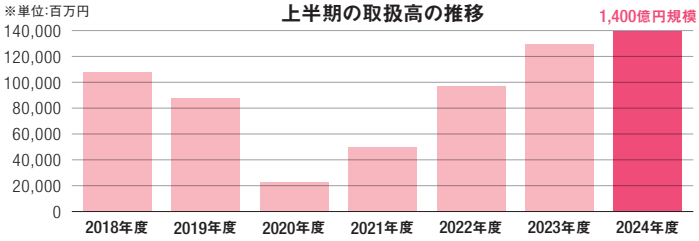
ライブ・エンタメ市場規模の将来予測 ※単位:億円



ぴあグループでは、世界の多様な「文化芸術」の共存・共生こそが、サステナビリティの根源をなすという考えに基づき、SDGs18番目の目標として、**"Making Life and Society rich with Art, Culture, Entertainment and Sports."（文化芸術・エンタテインメント・スポーツで、心豊かな暮らしと社会を）**を提言しています。

ぴあの上期決算ハイライト

上半期の取扱高の推移 ※単位:百万円



当社が事業基盤とする国内レジャー・集客エンタテインメント市場は、ライブ・イベント開催の活発な動きが継続され、コロナ禍前を大きく上回る規模で順調に推移しています。こうした経営環境下、当社グループの中間連結会計期間の連結業績は、第1四半期に続き、人気アーティストの全国ツアー、大規模フェス、演劇、スポーツ等のチケット販売、およびその周辺事業が好調に推移した結果、取扱高ベースでの売上は1,400億円規模となり、中間連結会計期間では過去最高の水準となりました。新規事業投資や給与アップを含めた人的資本投資等の増加を吸収する形で、営業利益、経常利益ともに前期を上回り、期初想定通り順調に進捗しています。一方、こうした中で、投資先企業の一部について投資有価証券評価損3億36百万円を特別損失として計上しました。

当社財務情報はホームページでもご覧いただけます。 **https://corporate.pia.jp/ir/**

会社情報（2024年9月30日現在）

会社概要

商号	ぴあ株式会社（PIA Corporation）
本店所在地	東京都渋谷区東1-2-20 渋谷ファーストタワー
設立	1974年12月
資本金	6,444百万円
社員数（連結）	485名
事業内容	音楽・スポーツ・演劇・映画・各種イベント等のチケット販売、コンサートやイベントの企画・制作・運営、スポーツ団体・劇団・ホールなどへの各種ソリューションサービスの提供、ぴあアリーナMMなどホール・劇場の企画・運営、エンタテインメント・レジャー領域を中心としたネットメディアや出版物の企画・編集など、エンタテインメント全般に付随する各種事業
役員	代表取締役社長　矢内 廣
	取締役副社長　木本 敬巳
	専務取締役　吉澤 保幸
	常務取締役　村上 元春
	取締役　小林 覚
	取締役　東出 隆幸
	取締役　川端 俊宏
	取締役（社外）　宮本 暢子
	取締役（社外）　一條 和生
	取締役（社外）　石田 宏樹
	取締役（社外）　村井 満
	取締役（社外）　佐藤 則之
	取締役（社外）　寺田 美穂
	常勤監査役（社外）　能勢 正幸
	監査役（社外）　松田 政行
	監査役（社外）　糸谷 祥輝
主要グループ会社	チケットぴあ名古屋株式会社 チケットぴあ九州株式会社 ぴあ総合研究所株式会社 ぴあグローバルエンタテインメント株式会社 ぴあフィールドサービス株式会社 株式会社東京音協 MECぴあクリエイティブ株式会社 ぴあ朝日ネクストスコープ株式会社 PIA DAIMANI Hospitality Experience株式会社

株式の状況

発行済株式総数	15,641,413株
株主数	26,803名

主な株主

株主名	持株比率（%）
矢内 廣	19.53
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	9.01
KDDI株式会社	8.95
TOPPAN株式会社	6.95
きらぼしキャピタル東京 Sparkle 投資事業有限責任組合	5.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	4.51
株式会社セブン&アイ・ネットメディア	4.51
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	4.51
三菱地所株式会社	4.35
株式会社日本カストディ銀行（信託E口）	1.94
矢内アセットマネジメント株式会社	1.28

株式メモ

上場取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	4337
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
配当受領株主確定日	毎年3月31日（中間配当を実施するときの株主確定日は、9月30日です）
公告方法	電子公告〈URL〉https://corporate.pia.jp/ir/ （ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞にて行います）
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合せ先	TEL.0120-782-031
インターネットホームページ	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株主優待のご案内

株主優待制度について

2024年3月31日現在の株主の皆様に対し、以下の通り株主優待を実施しています。

1.優待品目

1. オリジナル図書カード、オリジナルシネマギフトカード、新たに加わった令和6年能登半島地震災害義援金から、下記優待金額（年2,500～11,000円）の範囲内で自由に組み合わせて事前にお選びいただけます。

2. アプリ　［有料コンテンツの利用］

ぴあ 年6,000円分

2024年3月31日時点で2期継続、100株以上を保有していただいている株主の皆様は、通常年間6,000円がかかる「ぴあ」（アプリ）の有料コンテンツを1年間無償でご利用いただけます。詳しくは、対象となる株主様に別途送付されるお知らせをご覧ください。

2.優待区分

保有株式数 ＼ 保有期間	2期未満（1年未満）保有	2期以上（1年超）継続保有	
	優待	優待	アプリ
1,000株以上	5,500円分	11,000円分	ぴあ 年6,000円分
100株以上	2,500円分	5,000円分	ぴあ 年6,000円分

「ぴっけろくまっぴー募金」のご報告

能登半島の災害において被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。ぴあグループでは、能登災害の復興のために、義援金チケットの発売、株主優待を利用した義援金の募集、オフィスへの募金箱の設置などを続けています。その結果、6月30日時点で総額875,858円の義援金をお預かりし、その全額を「芸術・文化による災害復興支援ファンド」へ寄付をいたしました。ご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。また、これらの募金に加え、ぴあグループより同ファンドへ300万円を寄付しました。

今後も「ぴっけろくまっぴー募金」の活動を継続してまいりますので、エンタテインメントを愛する皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

購入はこちらから

株主様限定！ プレゼントキャンペーンのお知らせ

ご好評をいただいている、株主の皆様を対象としたプレゼントキャンペーンのご案内です。今回も「ぴあ」（アプリ）にて実施し、ぴあオリジナルデザインのTOHOシネマズギフトカード、ぴあ刊行の人気MOOKや書籍など、様々な賞品をご用意しています。是非この機会にご応募ください。

詳細はこちら

※詳細は、同封のご案内をご確認の上、「ぴあ」（アプリ）からご応募いただきますようお願いいたします。

ぴあ株式会社　〒150-0011 東京都渋谷区東1-2-20 渋谷ファーストタワー　TEL.03-5774-5200（大代表）https://corporate.pia.jp/